

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

令和三年度十二月 入賞句一覧 投句数 六百 句



特選

田中 青志 選

文化の日俄役者の花舞台

本巣郡北方町 三輪 幸恵

好きこそものの上手なれ、持つて生れた芸達者など、世に表現はさまざまなれど嫌いではない村芝居の役者、お粗末ながらご披露の機会を得たのが文化の日。文化と言えば、人間の精神的な生活にかかわるものを残し、受け継ぐこと、そのお役の一端を果たせたとすればこの上ない俄役者の眞利、花の舞台の名（迷）演技でありました。

満月やうさぎの家の人の夢

大垣市 北島 暁子

母の背中で聞いた月の兎のお餅搗きのお話、戦後アメリカ人が日本人は兎の家に住んでいると言いましたが、立派に経済成長を成し遂げて政界に誇る経済大国になりました。今でも兎の家に住んで、未来への夢は棄ててはいません。月と兎のおとぎ話には夢があり、未来に繋がったことこのひとつです。今宵の名月を仰ぎながらいい夢を見させていただきました。

継ぐ者のなき家磨く歳の暮

大垣市 安田 むつこ

抽らせて頂くに忍びない句でした。果てしなき未来、大きな夢を描く子供たちの成長を見守り、子供たちもその期待にこたえてくれました。子供たちは、広くは外国に、そして都会に出て大成し、世に大切な人となりこの家を継ぐ機会を逃すことになりました。心残りが無いと言ったら嘘になります。この現実から逃避はできません。生きる限りこの家を守り磨き続けます。

秀逸

駆け出してもうコスモスになつてゐる

東京都世田谷区 関戸 信治

白菜のぐらりと傾ぐ猫車

愛知県名古屋市 舘野 茂子

母の忌や白き二輪の帰り花

大垣市 スミノ さくら

赤福へ列できてゐる小春かな

大垣市 高木 恵理

喪の夜や静寂の中の虎落笛

養老郡養老町 佐藤 咲楽

冬の蝶さがしものでもするやうに

大垣市 佐藤 すみ子

おかわりの手と手がふれる根深汁

大垣市 村井 娑婆

杉箸のすなほな木目今年米

大垣市 吉田 てるみ

父よ母よ手を取りてこよ秋の虹

静岡県藤枝市 山本 紫苑

ラグビーのゴールはH空は青

大阪府堺市 椋本 望生

入選

一般の部

空を囓む缺のリズム松手入	神奈川県大和市	岩田 爾瑠
裸木となりて個性のあらわるる	大垣市	本田 勢津子
立冬の星光り出す鉄路かな	大垣市	中村 昌子
君の香は君にしかなし榎櫃の実	大垣市	田口 貞善
石佛に濡れ葉はりつく冬の雨	大垣市	鶴田 信子
稲架解かれほつと息づく湖ほとり	大垣市	白井 秀子
山茶花の紅を散らして通学路	大垣市	久保田 悟義
大根干し投げ手受け手の息びたり	養老郡養老町	田中 紫香
初霜や光あふるる輪中村	養老郡養老町	松永 智志
野仏の時雨に濡れる慈悲の顔	大垣市	大原 巖
失恋のあの日ふと浮く柚子湯かな	不破郡垂井町	西垣 和志
冬の虹丘に右脚だけ見せて	岐阜市	堀江 美州
小春日や伝い歩きの後を追ふ	大垣市	高木 歌佐
葱焼いて健康診断異常なし	静岡県富士市	磯野 昭仁
午後からは小雨となりぬ翁の忌	兵庫県神戸市	岸下 庄二
ともがきも昭和もおぼろ日向ぼこ	大垣市	吉田 てるみ
炊き上げし新米匂ふ夕餉かな	大垣市	森 茂寿
まほろばの狭霧に浮かぶ朱雀門	東京都西東京市	石井 一郎
川沿ひに市立つ飛驒の小春かな	岐阜市	辻 雅宏
眞子さまのしあわせ願ふ冬薔薇	埼玉県さいたま市	澤田 紫

選者吟

揺さぶれば枯木梢で応へけり

青 志

